


# 御前山ビオトープ通信

平成21年11月5日

## 第25号

編集： NPO「美しい田園21」 清野   
 メール：[denen21@hb.tp1.jp](mailto:denen21@hb.tp1.jp)  
 ホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>

【案内図】



### 目次

- 1 ノーブルキッズ稲刈り
- 2 古代米の稲刈り

### 1 ノーブルキッズ稲刈り

10月17日(土) 桜山集落内の「ノーブルキッズ田んぼ」の稲刈りを行いました。10月3日(土)以降、稲刈りの準備打ち合わせ、前日も周辺草刈などスタッフで準備作業を行いました。

当日は天気を心配しましたが、日中は何とかもちそうで、薄曇となり暑くもなく稲刈りには最適な日和となりました。

10時にはノーブルキッズ等100名、スタッフや地元集落を含めて150名近くが集合して開会です。

主催者挨拶のほか、地元とノーブルキッズ双方の子供達の挨拶交換や指導員の紹介、その後準備体操をして稲刈り前に皆で記念撮影。

早速田んぼには入り、各班に分かれて稲刈り作業が始まりました。一部山際の田んぼの排水が悪く、苦労しましたが、むしろ農作業の大変な実態を体験できてよかったかもしれません。

鎌の数にも限りがあるので、半数ずつに別れて交替しながら、田んぼの上の広場で「田んぼの学校」を開催しました。「お米と田んぼのはなし」と題して40分ほど。パネルや古代稲の実物などを使用



地元子供代表から歓迎挨拶





して説明が行われました。昔は黒米や赤米など今のような白い米ではなかったこと、一粒の米が何粒に増えるかなどクイズ形式で学校とは違った勉強を経験できたようです。

昼食はスタッフが用意したカレーライスで家族ごとに頂きました。地元からは芋や漬物などの差し入れも行われ好評でした。

昼休みは子供の輪投げなども行われました。

午後は刈った稲を束ね、おだに掛けます。特に束ねるのが難しく慣れないとなかなか進みません。

運ぶのは数の多い子供達の出番で、皆一生懸命に頑張りました。作業は順調で予定より少し早く終了し、閉会には活躍した子供に表彰とプレゼントもありました。

秋晴れの爽やかな一日で、気持ちのいい汗をかきました。

おだかけによる天日乾燥のあと10月30日(金)には脱穀作業を行い、収穫量が概ねで400kgとまずまずのできてました。精米して参加した各家庭(約50家族)に配布される予定です。



田んぼの学校



どうするの? わかんないの

## 2 古代米の稲刈り

10月22日(木)にはビオトープ内の田んぼで古代米の稲刈りを行いました。地元桧山、事業所など約30名が汗を流しました。

今回は小瀬高校農業科の生徒が男女2名、営農体験で初めて参加してくれました。二人とも稲作経験はあるようですが、普通の稲に比べて2倍近くも高い背丈や、黒米や赤米など色違いの米は初めてで驚いたらしく、大変興味を持ったようでした。

また茨城大学の先生も下見に来てくれて、茨城県にこのようなビオトープがあったことに感心し、11月5日のイベントには学生を連れて参加したいとのことでした。

稲刈り後はビオトープに興味があるということだったので、皆で上の池周辺の草刈りやアシの除去作業を行いました。かなり根が深く入っているので、この作業は今後とも継続していく必要がありそうです。



古代米の稲刈り



10月22日(木)